

国連国際防災戦略(UNISDR)事務局の概要

1. 概要

(1) 設立経緯及び本部・組織

2000年に国連総会決議により暫定設置、2002年に正式発足。本部はジュネーブ、地域事務所等はナイロビ、カイロ、バンコク、パナマ、ブリュッセル、タジキスタン、仁川の7カ所(この他にニューヨーク、神戸、フィジー等にリエゾンオフィスがある。)(2012年5月現在)。

(2) 活動内容:

国際防災協力の促進及び国際防災戦略である「兵庫行動枠組」の推進。

【2010～2011年度二カ年活動計画】

- ①国際防災システムの強化
- ②都市・学校・病院の防災強化
- ③防災投資の促進
- ④気候変動適応策への防災対策の活用

(3) UNISDRの長

ワルストロム国連事務次長補(防災担当)兼兵庫行動枠組実施のための国連事務総長特別代表。
2009年1月に着任。

(4) 職員数

116人。邦人専門職員は2人(専門職全体の約2%)(2012年5月現在)。

2. 我が国との関係

(1) UNISDRは、唯一の国際防災機関として、国際防災協力を推進し、国際社会の防災戦略である「兵庫行動枠組」の進捗状況をフォローアップしています。2010年にハイチで発生した甚大な地震被害や2010年及び2011年にパキスタンで発生した洪水被害に見られるとおり、途上国における防災取組は、多大な人命損失やインフラ損壊を防ぎ、持続可能な開発を達成するためには不可欠です。

(2) 我が国は、防災大国としての知見と経験を活かし、従来より積極的な防災協力を行っており、その一環としてUNISDRの活動を支援しています(2011年度の拠出は約104.5万ドル、拠出順位は10位)。我が国がUNISDRを支援することは、近年気候変動の影響等により自然災害の発生が増加していることもあり、脆弱な途上国における災害リスクや災害被害を軽減するために必要不可欠です。

3. 各国の拠出状況 (単位:千米ドル)

	2007年		2008年		2009年		2010年		2011年						
	国名	拠出額	拠出率	国名	拠出額	拠出率	国名	拠出額	拠出率	国名	拠出額	拠出率			
1	EC	5,365	25.5%	世銀	5,000	17.3%	スウェーデン	6,010	29.1%	スウェーデン	7,781	28.8%	世銀	4,250	16.0%
2	世銀	5,000	23.8%	EC	4,305	14.9%	オーストラリア	3,136	15.2%	世銀	4,757	17.6%	スウェーデン	4,228	16.0%
3	スウェーデン	2,576	12.2%	スウェーデン	3,770	13.1%	ドイツ	2,582	12.5%	韓国	2,500	9.3%	EU	3,890	14.7%
4	英国	1,994	9.5%	英国	3,376	11.7%	英国	1,895	9.2%	オーストラリア	1,727	6.4%	オーストラリア	2,170	8.2%
5	ノルウェー	1,079	5.1%	ノルウェー	2,589	9.2%	ノルウェー	1,293	6.3%	EU	1,635	6.1%	ノルウェー	1,535	5.8%
6	カナダ	1,039	4.9%	オーストラリア	1,439	9.0%	日本	1,120	5.5%	ノルウェー	1,304	4.9%	韓国	1,500*1	5.7%
7	日本	752	3.6%	スペイン	1,295	4.5%	オランダ	1,100	5.4%	スペイン	1,133	4.2%	デンマーク	1,285	4.9%
8	ドイツ	702	3.3%	日本	1,293	4.5%	スイス	1,041	5.1%	日本	1,116	4.2%	スイス	1,246*2	4.7%
9	ルクセンブルク	658	3.1%	ドイツ	1,195	4.1%	中国	620	3.0%	オランダ	1,100	4.1%	オランダ	1,100	4.2%
10	デンマーク	512	2.4%	デンマーク	1,047	3.6%	フィンランド	530	2.6%	スイス	907	3.4%	日本	1,045	3.9%
合計	19ヶ国	21,038	100.0%	22ヶ国	28,852	100.0%	17ヶ国	20,660	100.0%	19ヶ国	27,015	100.0%	22ヶ国	26,506	100.0%

*1 うち1000千ドルは書面でのプレッジのみ *2 うち10千ドルは書面でのプレッジのみ